

鉤屋町 町内会だより

鉤屋町町内会だより

再刊にあたって

鉤屋町町内会会長

石岡 昇司

鉤屋町町内の皆様には日頃より町内会活動にご協力をいただき、感謝しております。

このたび「町内会だより」が、七月に町内に引越してきた脇田さんの協力で再刊することとなり、大変喜んでおります。

町内の話題・情報の発信ばかりでなく、皆様からの苦情やご意見をお聞きし、一緒に考える場になればいいと思います。

前編集長の吉田常夫さんと同様に、取材を受けた時は快く対応していただければありがたいです。楽しく住み良い町にする役割として期待しています。（プレッシャーにならない程度で）

不定期発行

発行者
鉤屋町町内会

編集 / 文責 / 撮影
桂 汎用工房
脇田桂一郎

印刷
小松総合印刷
株式会社

9月13日資源回収

初の取材ということで、まずは朝一にすべての回収場所を回ってみました。

かわてつ園脇には早くから多くの方が持込をしています。



コーポふじ前にはありませんでした。十文字稲荷様の前にはほどの量。

元北田商店裏には役員の方をはじめとして、皆さん方がダンボール

ルの折りたたみなどを行っていました。

「たくさん集まりましたね」と声をおかけすると、「今回は少ないですよ、いつもの半分くらいかな」とのこと。ダンボールってそんなに集まるものなのか。



家の前に出された資源も回収場に運んでいきます。



佐藤好春さんが軽トラックで集めたものを運んでくれます。



古紙の回収車が来ました。皆さんでバケツリレー方式で運びます。





続いてダンボールの回収車。



場所を変えて、かわてつ園よこの回収場所。こちらでもまず古紙の回収。



空びん・空缶回収のトラック。



私は特殊車両が大好きなので、この回収車の動きは近くで見るとちょっと怖いですね。



8時45分過ぎにはすべての回収が終わりました。役員の方々、お手伝いしてくださった方々、お疲れ様でした。

写真ばかり撮っていて手伝えないのと、お忙しそうなのであまりお話を聞けなかったのが反省点というか。

「取材」ということ自体、まだまだ勉強が必要なようです。

次回の資源回収は11月15日、日曜日となります。皆様のご協力をお願いいたします。

鉾屋町内での資源回収品目は次のようになっています。

- ・茶色と緑色の一升瓶(その他の色のものは市の回収へ)
- ・アルミ缶(アルミ以外のフタは取って市の不燃ごみへ、プルタブやアルミのキャップはついたままでもよい)
- ・ビール瓶(大瓶・中瓶のみ、小瓶は市の回収へ)
- ・段ボール(つぶした物を段ボールの箱に詰めて)
- ・古新聞(できれば紙ひもで結んで)
- ・広告チラシ(できれば紙ひもで結んで)
- ・古雑誌(できれば紙ひもで結んで)

それ以外のものは、盛岡市の資源ごみ、古紙の回収へお出ください。

- ・茶色と緑色以外の一升瓶と四合瓶
- ・スチール缶
- ・ジュース、コーラ瓶
- ・ペットボトル
- ・ティッシュ箱等の厚紙

敬老会について

9月27日に予定されていた敬老会は新型コロナウイルス対策のため中止となりましたが、記念品は9月27日に民生委員の佐藤好春さん、浅沼よし子さんが戸別に周ってお届けしてくださいました。お二人ともお疲れ様でした。

無電柱化工事の説明会

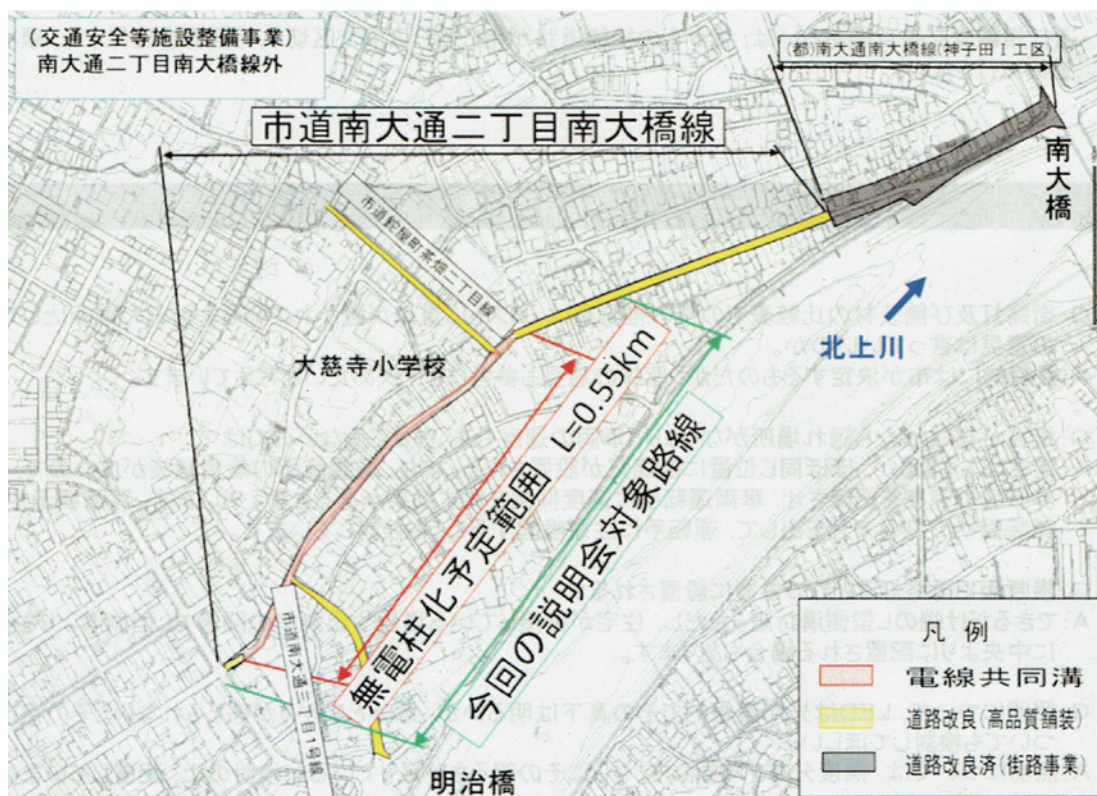
令和2年8月31日と9月1日に鉾屋町の電線共同溝工事関連の事業説明会が行われ、31日の方に出席してまいりました。

この工事は鉾屋町の通り、木津屋本店さんあたりから十文字稲荷までの電柱を撤去し、電線及び電線管を地中化するのを主として、道路舗装、街灯設置、歩道部分の融雪設備などが行われるもので、名称は「市道南大通二丁目南大橋線事業」だそうです。

道路舗装は「半たわみ舗装」というもので、普通のアスファルト舗装にセメントミルクを混ぜ込み、強度を上げたものとなっています。またこのセメントを着色し、さらに溝をつけて目地のようにすることで「石畳風」の仕上げに

きることのこと。

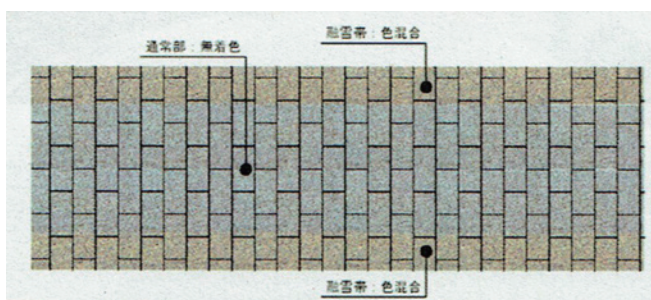
照明はLEDとなり、明るさを検討しながら必要な本数を設置すること。電柱はなくなり、街灯の柱は立つことになりま



工事の範囲 ピンク色の部分が無電柱化で、街灯と融雪装置が新設される。
黄色部分は道路舗装のみ。(説明会資料より)

道路の左右端に、幅1メートルで雪や氷を熱で溶かす融雪装置が入ります。熱源は電気ヒーターで、中央通や映画館通で使われている温水を流すものに比べて故障は起きにくいとのこと。

工事のスケジュールは、令和3年から6年まで地中化の道路掘削工事。令和6年から8年まで道路の舗装工事その他が予定されているそうです。



舗装のイメージ図 歩道と車道に段差はなく、色分けで歩道を表示する。歩道部分には融雪装置が設置される。(説明会資料より)

質疑応答では、

Q 街灯や道路のデザインは決定なのか？

A 最終的には市で決定するが、市民の意見も参考にした

い。

Q 電柱がないと自動車の速度が上がって危ないのでは？

A 街灯の柱が立つこと、着色舗装で歩道を意識させるこ



工事後のイメージ図

舗装に刻みをつけ目地のようにして、石畳風にする案。(説明会資料より)

と、路面標示や舗装の刻みで音を出して警告する等で車両を抑制する。
Q 照明のLEDの明るさや配置は？
A 照度分布を検討して配置している。
などが挙げられました。

また石岡会長より、キダナさんから大慈寺正門までの道路も石畳風にする案が挙がっていました。ではないか、との提案もありました。



9月26日から10月18日まで、もりおか町家物語館 風の広場で、第46回盛岡彫刻シンポジウム野外展が開催されていました。
石彫を中心に6名の作家の作品が並んでいます。
見たような名前があるな、と思ったら、大学の先輩や同級生が何名かおりました。



盛岡彫刻シンポジウム野外展



今回より町内会だよりの編集を担当させていただく、脇田桂一郎(わきたけいいちろう)と申します。生まれは宮城県塩竈市、仙台市で育ち、平成元年より盛岡市に移ってまいりました。
岩手大学教育学部特設美術科卒業後、渡辺敏男の率いる建築士事務所へ盛岡へ設計同人に勤務。古い建築物の調査・改修を主体に、様々な設計業務に関わり、平成17年ごろから鉾屋町町の調査改修に携わりました。現在は個人事業者として二級建築士事務所、桂汎用工房(けいはんようこうぼう)を営んでおります。
ご縁あって、今年の7月に鉾屋町へ越してまいりました。石岡会長ほか皆様のお進めもあり、町内会だよりの再刊をお手伝いすることにしました。まだこの地域のこととわからないことも多々ありますので、自分自身の勉強も兼ねてこの仕事を続けたいと思っています。